

# 「模擬裁判員裁判」

津地方・家庭裁判所では、法の日週間行事として、10月6日（金）に小学校・中学校・高校の教職員の方々を対象とした「模擬裁判員裁判」を開催しました！

## ①【裁判員の選任手続や刑事事件に関する説明】

裁判所の職員から参加者に対して、裁判員の選任手続や刑事事件に関する説明を行いました。

## ②【模擬裁判員裁判】

（冒頭手続等）

裁判官・裁判員・検察官・弁護士それぞれの役を参加者に演じていただき、刑事事件の冒頭手続等を行いました。

（模擬評議）

参加者と裁判官が一緒になって、被告人が有罪であるか、無罪であるかを決める模擬評議を行いました。

（判決宣告）

模擬評議の結果を踏まえ、裁判官役の参加者に判決宣告を行っていただきました。

## ③【質疑応答】

参加者から評議に関する疑問点や普段の事件で気を付けていること等について質問があり、裁判官から日頃感じていることなどをお答えしました。

## ④【記念撮影】

参加者が法服を着用し、裁判官席に着席して記念撮影を行いました。



## ②模擬裁判員裁判



### 参加者からの感想

- ・裁判官が評議を丁寧に進めてくださったおかげで、意義深い話し合いができました。
- ・いろいろな視点があり、評議は難しく感じたが、貴重な体験ができました。



## ④記念撮影



## 広報担当者からのコメント



今回の広報行事では、令和5年から18歳の高校生も裁判員に選任される可能性があることから、若い世代に裁判員裁判への理解を深めてもらいたいと考え、教職員の方々を対象とした広報行事を企画しました。その結果、参加者からは、「非常に貴重な体験をすることができた」、「今後の授業の参考になった」などの感想を頂くことができました。

今後、今回の体験を若い世代への法教育に活かしていただけましたら幸いです。参加していただきました皆さま、ありがとうございました！